

町長の姿勢を問う

支援を検討する／町長



のしょうぞう 議員
矢野 昭三

- 問**
- (1) 合併協議会委員提案事項について問う。
- ①活動基準原価計算はいつから導入するか。
- ②合併検証委員会の設置、いつから取り組むか。
- (2) 4月1日から佐賀庁舎の職員数、職務権限、住民が困らない様にする事。
- (3) 佐賀地域では地域活性化特別交付金が合併前の3分の1に減額になった。また、敬老会補助単価も2分の1になり部落の運営ができてない。

答

下村町長

- (1) ①まだ導入する状況にない。
②22年度に見直ししたい。
- (2) 町長部局等28人、教育委員23人。支所長の権限は議会へ提案する。
- (3) 前より少なくなったことは申し訳ないと思っている。いろんな角度から支援をやっで行かなければならない。

地域交通

弱者への
交通手段確保
弱者に配慮
／町長

問

自宅からバス停まで1〜2kmある弱者の交通の確保をする事。

答

下村町長

22年度から24年度で公共交通体系の計画目標を達成するよう努力する。

健康保険の
負担軽減策について
医療費抑制し、
税の軽減に努める／町長

問

- (1) 健康診断の地域別実績と課題、またその対応策を問う。
- (2) 政府管掌、総合健康保険に比べ国民健康保険の負担が大きい保険税など住民負担を軽減する対策を示せ。

答

下村町長

20年度の受診率は34・2%

建設福祉について
前向きに取り組む／町長

問

- (1) 各部落から要望を受け国道交通省へ何時どの様な要望を行ったか。
- (2) 道路建設に伴い水路などがコンクリート3面張りになると流速が上がり災害が発生する恐れがある。
担い手農家が農地を失うので代替農地の確保また、住民が困らないように取り組むこと。

答

下村町長

- (1) 18年9月4日、19年3月28日、19年12月20日、20年9月9日、22年1月9日に文章でおこなった。
- (2) トンネル水のことにはポンプアップで四万十町へ返す方法もある。
水路、ニラハウス、住宅問題など誠意を持って取り組む対策を検討中。
- (3) 4月以降現地調査を行い幡多土木事務所へ要望をする。

だが、集落人口の大小で差がある。5年後の目標を65%とし、22年度は個別検診をあわせ取り組み、医療費を抑制し税の削減につなげたい。

- (3) 伊与木川清流条例があるが葦が繁茂して土砂が推積し、水はげが悪い。22年4月に県へは葦、土砂の取り除きの要望をするか。

